

# ふるさと納税 管内56億円

## 21年度 前年度比12億円増

2021年度のふるさと納税で、管内20市町村の寄付総額は約56億円と、前年度比で約12億円増となった。新型コロナウイルス禍の巣ごもり需要をとらえた。「収支」は泊村を除く19市町村で黒字となり、税収増は同約5億円増の計25億8400万円。黒字の最高は寿都町で6億5300万円。泊村は寄付額自体は増えたが赤字にとどまった。

### 黒字最高 寿都町6億円

総務省が公表した資料を基に集計した。「寄付額」は、自治体ごとの収支を算出した。「返礼品調達額」「発送費用」「市町村民税と道民税の控除額」が公表されており、寄付額から調達・発送費用と両税控除額を差し引

自治体名	寄付額	収支
寿都町	13億1400万円	6億5300万円
余市町	7億8100万円	3億7100万円
小樽市	6億6200万円	1億8100万円
倶知安町	5億5800万円	2億6700万円
仁木町	4億7800万円	2億1500万円
古平町	4億5000万円	2億2300万円
赤井川村	4億3800万円	2億4800万円
黒松内町	1億8300万円	9300万円
留寿都村	1億7600万円	9000万円
岩内町	1億3400万円	5700万円
京極町	9800万円	4000万円
共和町	8200万円	2900万円
積丹町	7800万円	4100万円
ニセコ町	4700万円	2200万円
喜茂別町	3900万円	1400万円
蘭越町	3700万円	1600万円
真狩村	3000万円	1500万円
神恵内村	500万円	200万円
泊村	300万円	▲60万円
島牧村	100万円	20万円

(注) 総務省の資料を基に算出。100万円未満を切り捨て。泊、島牧村の収支は10万円未満を切り捨て

6700万円だった。寿都町は登録サイトを「ふるさとチョイス」のみで絞っている。他自治体が複数サイトに掲載し寄付を募る方式に対し、同町担当者は「1社に絞ることで寄付が集中し、ランキング上位に入る。すると、注目が自然と高まり、寄付がさらに集まりやすくなる」と好循環の「秘策」を明かす。海に面していない自治体の担当者は「海産物の品ぞろえが充実している自治体と格差が生まれるのは仕方ない」とあきらめつつ、「人口減による税収減を考えれば、制度は存続してもらわなければならない」と話す。

### ものづくり大賞優秀賞の小樽・理研興業

## 光るワイヤ 安全走行貢献



道路に設置された光るワイヤロープ (理研興業提供)

約するふるさと納税サイトを2から3に増やしたほか、IT企業サイバーレコード(熊本市)と協力し、商品開発に力を入れ、寄付額を増やしたい考え。

管内で唯一赤字の泊村は導入が19年11月と管内最後発だったため、知名度不足が影響した。燃料代高騰などで返礼品の輸送費用もかさんだという。

道路の中央分離帯などに使用する「光るワイヤロープ」を開発し、「第9回ものづくり日本大賞」(経済産業省など4省主催)で、道路用資材製造販売の理研興業(小樽市銭函3)が優秀賞を受賞した。同社は防雪柵のトップシエアを誇っており、ドライバーの安全安心な走行への貢献が評価されたことを喜ぶ。

同賞は技術開発などで優れた人材や団体を表彰する。光るワイヤロープは2018年に発表。ワイヤロープに発光ダイオード(LED)で光る樹脂線をまきつけて夜間や悪天候時の視認性を高めた。道内外の高速道路などに設置され、22

### 管内74人感染

小樽は52人

小樽市と道は20日、新型コロナウイルス感染者を後志管内で新たに74人確認したと発表した。市発表は市内の医療機関で確認された48人と陽性者登録窓口分4人の計52人。道発表の町村

### 誘致と雇用 将来像議論

寿都 NUMOが住民向け勉強会

### 核のごみ

どこへ

【寿都】原発から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の最終処分を担う原子力発電環境整備機構(NUMO)は19日、処分場選定に向けた文献調査が進む町内で住民対象に第14回勉強会を開いた。町の将来像を議論し、住民からは企業誘致と地場産業拡大の両立を求める意見が出た。

NUMO側によると、参加者は町内に安定した雇用が必要とし、「企業誘致」と「地場企業の規模拡大」

を提案。最終処分場の建設を含めた企業誘致のメリットとデメリットとして「速効性がある」「地元企業の社員がとられる」などを挙げ、「地場産業の拡大との組み合わせが理想」との声が上がったという。

会には応募者20人のうち10人が出席し、非公開で意見交換。NUMO担当者が文献調査の進み具合についても説明した。

このほか、NUMOは取材に対し、東京電力福島第1原発やその周辺の視察を早ければ4月以降で調整していることを明らかにした。(前野貴大)



スリッパ卓球選手権をPRする実行委メンバー。右は前回優勝者の佐藤広大さん

### スリッパ卓球 真狩でプレーしよう

来月4日

【真狩】ラケットの代わりにスリッパを使って球を打つ「スリッパ卓球」の第10回全日本選手権(実行委主催)が2月4日、まっかり温泉などで開かれる。新型コロナウイルス禍で3年ぶりの開催となる。観光客が減る冬場の集客増を狙い、2007年から開催。12年からは「全日本選手権」と銘打った。これまで老若男女100人が男女別のトーナメント形式で頂点を争ってきたが、今回は感染対策として定員を80人に減らす。予選は村公民館で、準決勝以上は同温泉で開催する。

上位入賞者にはブランド豚「ハーブ豚」などの賞品を贈るほか、競技中の仮装やスリッパの装飾の完成度を競う特別賞も用意する。実行委の担当者は「初めてでも簡単に楽しめる。真狩で会いましょう」と参加を呼びかけている。公民館での対戦は誰でも観戦可能。対象は中学生以上で、参加費は同温泉の入浴料や村内の飲食店で使える商品券などを含む2千円。スリッパは各自持参する。申し込みは先着順で、27日まで専用フォーム=QRコード=で受け付ける。問い合わせは村企画情報課、電話0136・45・3613へ。(加藤遥花)



小樽・後志 きょうと明朝の天気

最高気温	最低気温
6時 9 12 15 18 21 0 3 6 9	きょうのきょう
小樽	-4.1 -1.3
倶知安	-5.1 -1.1

議会議案

補正予算案など、2施設の新設に関する議案を維持補修費460万円、入った本年度(正予算案の計3件)に可決し、閉会後に2施設の指定等契約は、2022年度から3年間、町センターはカーサG(古平町)で、5260万円、Pセンターは共立立ヨンス(東京都中野区)で6750万円。

病院

(21日) 当番医  
◇小樽 夜間急病センター (住ノ江1の7の16、22・4618) 午後2時~翌朝9時

ぷんちゃん179の空

にほんかい かがや 日本海に輝く夕日

めん みるもいし おき 日本海に面した留萌市は、沖を